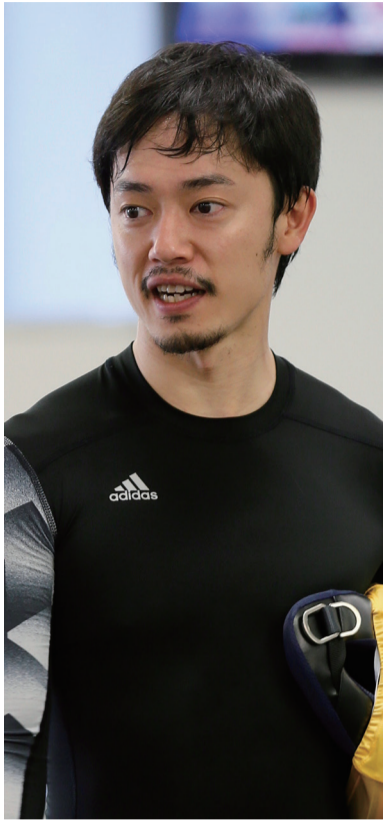


### 選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



#### 山中 秀将 (千葉/95期)

去年の千葉記念はラインから優勝を出せずに残念な結果に終わってしまった。すごい悔しい気持ちがあったし、ファンの方達からもいろんな意見を頂きました。松戸での代替開催ですけど、僕にとっては特別なレースになります。GIと同じ気持ちで走って、結果を出したいと思ってます。絶対に優勝します。



#### 伊勢崎 彰大 (千葉/81期)

去年は準決勝で負けて立ち直れなかった。でも、サマーナイトの誘導で滝澤さんに会った時に「頑張れよ。忘れもんを取って来いよ」と言われて、さらにやらないとなって気持ちになりました。色んな人にお世話になってるし、勝つことが恩返しだと思ってる。感謝の気持ちを優勝インタビューで言うのが夢ですね。

#### 野口 裕史 (千葉/111期)

S級初戦の9月小田原は983着。S級のペースをつかめず大敗を喫したが、9連勝で特進してきたポテンシャルを疑う余地はない。初の記念は地元戦。初戦の敗因を修正すれば上位進出も可能だ。



#### 岡崎 智哉 (大阪/96期)

「あっせんが止まった6月で脚が上がった感じがする」の言葉どおり、7月からはハイペースで勝ち星を挙げている。同じ33バンクでの開催だった8月富山記念で3連対している点も強調材料だ。



#### 吉本 卓仁 (福岡/89期)

6月久留米記念では地の利も生かして決勝2着。ここ5場所で優出4回と着実に調子を戻している。短走路のここなら末の粘りも補える。得意のカマシ、まくりで上位陣と互角の勝負を演じる。

## S級ブロックセブン

10/16 (最終日) 6R

ブロックセブンとは

「推理しやすい、わかりやすい、的中しやすい」をコンセプトにした、競輪独特の「地区」の色合いをより濃く打ち出したS級7車立ての新たな単発レース。

別線の機動型の谷口遼平、原口昌平はともに行きつぷりの良いタイプで、すんなり先手を握れば波乱を呼ぶことも十分。特に加速力抜群な原口に、堤洋の西勢のレースには注目したい。

東連係で、松谷の番手は牛山貴広が主張する。牛山は7月小松島記念の覇者。差し脚は切れるので、短走路でも逆転に警戒。

### 自在に攻める 松谷秀幸



松谷 秀幸

ブロックセブンは、松谷秀幸が主役の座には最も近い。今年こまでVこそない松谷だが、5月平塚ダービーで準決に勝ち上がるなどビッグレースでも結果を出している、実績上位の存在。7月弥彦記念の落車から動きに精彩を欠くものの、ここまでには立て直せるし、南関代表として無様なレースはできない。持ち味の自在戦で首位獲りだ。